

平成29年度実績に係る部局評価書

部局名:文学部・文学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		国際シンポジウムの開催等を通じて国際共同研究の件数が増加し、研究成果をグローバルに発信する取組の成果として、学部生と大学院生による外国語論文数が伸びている点が評価できる。またErasmus Mundus Joint Master Degreeの採択も認められる。
【業務運営】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		文化動態論を含めた大学院プログラムの改革の検討を進め、また言語文化研究科及び人間科学研究科と協働体制を採り、人文系教育研究の将来構想を報告書として纏めたことが評価できる。 また、大学院定員充足のための広報を戦略的に実施するなどにより、資料請求が19件から49件に増加したことも評価できる。

【評価区分2:「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】 全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(大学院)について、指導教員を通じた定期的な外国語力の把握と認定試験や資格取得の奨励に取り組み、実績を向上させたことが評価できる。 また、常勤教員一人あたりの論文数では、「文学研究科国際的・社会連携型人文学研究教育クラスター」の成果により、実績を向上させたことが評価できる。</p>
